



すずしろは大根 それは大地の豊かな恵の象徴
22世紀につなげる農のあり方を 共に考える会

援農状況 Let's Activate Area AGRI

6月の援農は、1624時間（内18.5時間は無償研修）、援農参加者は52人、受け入れ農家は12軒でした。今年度累計は、7948.5時間です。新たに養鶏場の卵の選別の援農が始まりました。どこの農家さんも草取り、草刈りに追われました。作業内容は、収穫（大根、かぶ、かぼちゃ、玉ねぎ、にんじん、トマト、きゅうり、じゃがいも、にんにく、エシャロット、らっきょう、いんげん、とうもろこし、小松菜）、定植（里芋、バジル、さつまいも）、ネギ土寄せ、ナスやピーマンの支柱立て、トマト芽かき、トマトやきゅうりの結わき、ごぼう溝掘り、いちご苗取り、種まき（ケイトウ）、梅もぎと選別、野菜販売、お花の収穫とリース作り、イネワラ敷き、田植、早生ブルーベリー収穫、ハウス片づけ、販売、台風対策、などでした。

理事会・分科会だより

第7回理事会開催 7月10日(水)18:00~20:45
(台町市民センターにて。理事10名・監事2名出席)

- ・援農時の携帯電話利用について
- ・ハチ対策・熱中症対策について
- ・新規支援先 小林養鶏場の件に関して
- ・中村前理事宅の作業小屋利用について
- ・会計報告について
- ・上映会レビューについて
- ・援農事務の分担について他



ちょっと耳にした情報・アドバイス

八王子特産の桑

梅坪町 谷津英一

8月から桑収穫が始まりますが、この桑はカイコが食べる桑ではなく、食用の桑です。押金健吾先生(故人)が、信州大学時代から55年かけて改良開発した「創輝」という品種で、現在は創価大学久米川宣一先生が引き継ぎ、研究を継続しています。桑葉は、ミネラル他126種類の栄養素が豊富で、糖尿病の症状改善に効果があると言われる桑特有の1-デオキシノジリマイシン(DNJ)が含まれていますが、「創輝」はDNJが多いためです。八王子の新たな特産品として、2007年から市内農家で生産を始め、現在は10軒の農家で生産、桑茶や青汁として創輝株式会社が製造・販売しています。製品は道の駅滝山やインターネットなどで購入できます。

桑の木は、冬に剪定をして、約40センチメートルの台木だけにします。春、台木から新たに数本の当年枝が伸び、夏には3メートルになります。その当年枝についた葉を8~9月に収穫します。収穫方法は、葉の軸(葉柄)を残し、葉身をはさみで一枚ずつ切り取って、袋に入れていくというものです。直射日光を当てず乾燥させないように保存し、その日のうちに製茶工場に運びます。

桑は、傾斜地でも湿地でも生育し、成長も早く、育てやすいのですが、夏場の収穫期に大勢の人手を要することがあります。収穫にご協力をお願いいたします。(聞き取り 飛田)



事務局より

- ・熱中症にならないために、休憩を分散して取り、水分や冷たいものを十分取って、絶対無理をせず少しでもつらいなと思ったら、作業を中断するなど、万全の注意を払ってください。
- ・ハチの発生する時期になりますので、長袖長ズボンで肌の露出を少なくし、黒いものを身に付けないように注意してください。
- ・携帯電話は作業中は、原則として使用しないようにしましょう。必要な場合はポケットなどに入れて、作業の邪魔にならないようにしましょう。

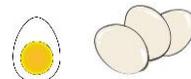


新しく入会された方々

青山登さん(南大沢)、今田喜美子さん(美山町)、針生福愛さん(元八王子町)

援農体験記

裏高尾町 樋口好子



檜原町の小林養鶏場援農に通い始めて半月ほどになります。

行くと、籠に山盛りの卵がいくつも台車にあり、すでにこの道のベテランおばあちゃんが仕事をされています。私もテーブルで卵を大卵、中卵、割れ卵、汚れ卵、大きすぎる卵に分けてトレイに入れていきます。トレイの箱が一杯になったら、10kgにはかりテープで止めて個数を書き出荷待ちのところに積んでいきます。また、道の駅で売る卵は、ビニール袋に11個とか13個とか入れラベルを入れてテーピングします。これがまたちょっと難しい、でも面白い。仕事をしてると卵を買いにお客さんがみえます。看板娘でもあるおばあちゃん は次々と対応に大忙し。私はその分仕事を進めようと思いますが、おばあちゃん とお客さんといっしょに話に花が咲いてしまうことも。とても家庭的であたたかい空気に囲まれて楽しませて貰っています。

イベント報告

- ① 映画『モンサントの不自然な食べもの』上映会は、みなさまのご協力により、6/29 やまゆり館、7/3 クリエイトホールで、来場者合わせて 203 名もの方に見ていただき盛況のうちに終わりました。来場者中、会員は 42 名、会員外は 161 名でした。映画の内容は、遺伝子組み換え作物世界シェアナンバーワンのモンサント社を調べたドキュメンタリーです。遺伝子組み換え作物の多くには、ラウンドアップという農薬の耐性が遺伝子に組み込まれているのですが、ラウンドアップ自体毒性が強いこと、遺伝子組み換え作物の毒性実験が毒性なしとねつ造されていること、収量が思ったより上がらなかったこと、環境中に出た遺伝子組み換え作物の遺伝子に変異しているなどの報告がありました。一体、遺伝子組み換え技術は誰のためなのか。タネから作物を育て、タネを取って、翌年そのタネを植えるという自然の営みを壊し、特許という理由で、世界のタネを握られてしまう恐ろしさを示していました。(飛田)



- ② 旬菜会料理教室 7月6日(土)に台町市民センターで開催され、参加者は23名でした。他にスタッフ4名、オブザーバ3名が場を賑わせました。内訳として、男性5名、女性18名でしたが、この中には小学生の男女各1名、男性の中には生まれて間もない赤ちゃんを持つお父さん、75才になり、初めて包丁を手にした男性などが特に目を引きました。スタッフの指導のもと、慣れない手つき、真剣な眼差しでの包丁さばきは是非ご家族に見ていただきたい光景でした。感想として、料理教室は親子の絆、家族円満、そして、社会全体の『心身の健康を維持する』と共に、社会福祉の向上に大変大きな役割を持つものまさに、国民的プロジェクトとして更に推進すべき大切な行いではないかな・・・日本の未来に太陽を見た！！と強く感じた次第です。(オブザーバ参加 長井)

